

# 新人同士の一騎打ち！

## 新時代のリーダー選び熾烈

守り育て後世に残したい

一方、藤本武士氏は告示1年も前に名乗りを挙げ、「5年先、10年先も若狭町の財政が上向くよう、財政改革を行わなければならない」と出馬への意欲を語り、議会に辞表を提出した。

美方高校を卒業した藤本氏は、東京に赴き会社勤務を経験し、28歳で帰郷。兄が町役場に勤務していることもあり、次男の藤本氏は家業の農業を継承。父親から受け継いだ畑を拡大し、現在(有)藤本農園を経営する。

町長を目標に町議になったという強い意思を持ち「歴史ある町、若狭町を町民の財産として守り育て後世につないでいきたい」と意欲を示し、支持をどこまで広げられるか。新人同士の一騎打ちとなった若狭町長選は、今後の動向が注目され、目が離せない。

### 森下町長、後継指名

来月4月30日に任期満了となる若狭町長選。現職の森下

裕町長は昨年より次回、町長選に不出馬の意向を明らかに

して、後継に誰を推すか注目されていた。6月の町議

会で3期目の今期限りで引退すると正式に表明。3期目当

選以降、リーダーとして若い後継者を探していたとし、後継候補に前町議の渡辺英朗氏39歳を指名した。

を入れ、人口減対策として交流人口増をはかり地域活性化

に取り組み成果を挙げてきた。残り任期中に小学校の再編な

ど残された課題に取り組みたいと常に前向きだ。

すでに前町議の藤本武士氏も出馬表明していて、新人同士の一騎打ちとなった。

### 若い力で明日を拓く

告示9カ月前にして現職の後継と指名された渡辺氏が正式に立候補を表明した。

渡辺氏は国学院大学卒で、闇見神社の禰宜。平成25年に町議に初当選し、昨年からは副

議長を務めていた。

自分の若さを生かし、時代の変化に対応できる町政を

指したいと意欲を示し、町議会に辞表を提出。「森下町政を

継承しつつ、歴史や文化を感じられるまちづくり、ITを活用したまちづくりなどを推進していきたい。また、北陸

新幹線を地域活性化のチャンスと捉え、年縞や三方五湖、福井梅など世界に誇れるものを発信していきたい」と抱負を述べる。

代々神職の家柄だけに住民の信頼申し分なく、次代を背負う人物として地域の期待を一身に背負う。

# 若狭町長選

## 渡辺 英朗

昭和55年生まれ。国学院大文学部神道学科卒。聞見神社禰宜。平成25年、29年若狭町議当選。令和元年副議長。令和2年町議を辞職し、町長選に立候補。



## 藤本 武士

昭和39年生まれ。美方高校普通科卒。若狭町認定農業士。福井県指導農業士会副会長。三方小学校PTA会長。北陸高校教育振興会会長。三方五湖青年会議所理事長。若狭ライオンズクラブ会長。若狭町北前川。55歳。

夢のある  
未来のために



討議資料